

⇓ 若年性軽度認知症・高次脳機能障害ケア
(介護保険非適用)

- ⇓ 地域学童保育
ケアマネジメントセンター
- ⇓ 土曜日プログラム
- ⇓ ソーシャルスキルトレーニング
- ⇓ペアレントトレーニング
- ⇓ 認知症介護相談事業(カフェ事業)

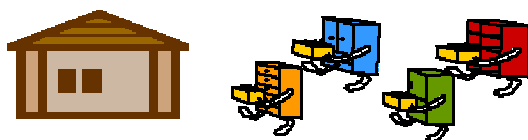
まどか * 円 * えん * 縁 * えにし * 縁 * えん * 円 * まどか

まどかは6年目に入っています。
「三日、三週間、三ヶ月、三年」とか、石の上にも等と唱えながら細々と活動して参りましたところ、いつの間にか3年が過ぎ、「5年くらいは保たないとかっこわるいよね」等と話し合いながら来ましたが、その5年も、お陰様で迎えることができました。その間、政権は変わり、株価はうなぎ登りに上り、格差はこの上なく広がり、社会不安は増すばかりです。いろいろな天災もありました。そんな中でも、「しぜんてふつう」な「誰でも輝ける日常生活」という理念を掲げて活動して参りました。心折れそうな時でも、会員の皆様のご支援や、利用者さんの頑張る姿に励まされ、6年目です。学童保育を中心に利用者は確実に増え、そちらは今や満員御礼状態です。かたや、若年性認知症をはじめとする高齢者施策については、介護保険の過当競争や認知症に対する「治療」や「過剰サービス」の広がりからか利用はきわめて限定的になっています。ただ、今後の地域福祉を見越したとき、制度とは一定の距離を置いた安定的なサービスが絶対必要だという認識は、いまでも変わりません。これからの道のりも、着実に歩いていきたいと考えています。これからも叱咤激励、よろしくお願いいたします。



事業所の移転予定

まどかの賃貸契約が満了して、現在の所は更新できないことになりました。残念ながら、新しい場所に移転しなければなりません。認知症や、相談事業のためには、つくば市でももっと人口密集地に移転した方がよいのですが、学童保育事業に関しては、地域で唯一の全学年保育を行っているまどかは、完全な民営ではありますが、行政や学校関係からも認知され、信頼されているため、北条小学校区を出て行くわけにも行きません。思案のしどころなのですが、当面は近場で事業を継続せざるを得ないかと思い、物件を検索中です。学童保育のためなら、小学校の空き教室を貸して頂けるのが簡単なのですが、「民間」に対しては、おいそれとは行かないようです。時期的には、来年の春、連休あたりを考えています。その節には、何かとご協力をお願いさせて頂くこともあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。



ボランティア



まどかでは、いっしょに活動していただけるボランティアを常時募集しています。
ともに地域福祉を拡げていきませんか？
宿題やパソコンを指導して頂ける方、楽しい遊びを提供できる方。
子どもと過ごすのが楽しい方。
さらには、一定の条件の下で、児童の送迎ができる方等、お待ちしております。

お問い合わせは



ホームページで！！

学童保育部門



また増えてます、まだ増えます

学童保育のニーズは高いものがあります。保護者の就労という面もありますし、地域の治安の不安定化という面もあると思います。
国の方針にも、学童保育の充実が取り上げられたばかりです。
まどかは、もう5年前から実践しています。が、振り返れば、当初はごく少人数の学童でした。それが今や立錐の余地もなく、始終『走るな騒ぐな』の注意ばかり・・・。
ハード・ソフト両面から、多くの利用希望にもお応えできない状況で、申し訳なく思っています。まどかの登録定員は各学年5名。合計30名。上級生が下級生の面倒を見る好循環も生まれていています。ただし、スタッフの学習支援は大変。一桁の足し算引き算と、分数・比例・面積・早さの問題を同時に教えるのは至難の技です・・・。
新一年生の申込みも既に多く、空きはわずか。繁盛は有り難いのですが、安定運営の道も、今後検討の必要があるかもしれません。
その時はまたご提案させていただきます。



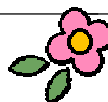
特別支援学童保育も行っています。バリアフリー環境が必要のない児童には対応できません。ご相談ください。

まどか土曜日プログラム&SST 今後の予定



毎回好評の土曜日プログラム。SSTやペアトレを含めて今後の予定は下記の通りです。
気になるプログラムがあれば、お気軽にお問い合わせください。

12月19日 1月23日 2月13日 4月	久松さんのそば打ち教室 綿引もゆら講師の初春スイーツ 菊池美和子講師の郷土料理 管理栄養士、菊池みどり講師の栄養教室
SST 12月19日	武藤幸枝先生による継続トレーニング
ペアトレ 2月～3月	『まどかカフェ』 藤沼りつ子さん ～ママのお困り感が軽くなったらいいな～





社会福祉法人 はまぎくの会 多機能型サービス事業所 ハートケアセンターひたちなか
職業指導員・作業療法士 松本純一 さん

私は国営ひたち海浜公園や干し芋などで有名なひたちなか市で障害を持った方の就職のサポートをする仕事をしています。仕事の内容は施設で作った商品を販売して、その売り上げを施設で働く障害を持った方（以後、メンバー）に作業工賃として還元している仕事です。施設で取り扱っている商品は様々で、名刺や封筒など印刷を行う印刷班、クッキーやパウンドケーキなどを作っている花詩工房班、焼肉のたれやらっきょう、干し芋などを作っている食品加工班の3班に分かれて作業を行っております。販売先は農業協同組合や生活協同組合、地域のイベントなどで販売しています。

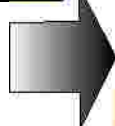
私が障害者の就職に係るようになって5年が経つのですが、その間にいろいろな変化があったように感じています。とくに大きく変わったと感じていることが障害を持った方、特に精神障害を持った方の一般の会社への就職率は年々上昇していることです。これは障害者法定雇用率の2%引き上げなど行政の施策の効果もあり、うちの施設でも毎年多くのメンバーが一般の会社に就職しています。しかし、就職者が増えるにつれ、違う課題が見えてきたように感じています。それは「仕事を続ける」ということです。（続く）

松本さんは、まどかの『土曜日プログラム』で、年1回、いろいろな食材を使ったスイーツ作りを、作業療法のスキルを活かして講義・実演してくださっています。（尚、商品等のお問い合わせは、まどかまでご連絡ください）

若年性認知症相談 & 認知症カフェ事業



カフェ事業
介護相談事業



認知症介護相談事業を行っています！！
悩みや負担感を遠慮なくお聞かせください。
専用電話 029-867-5233



居宅生活支援事業も行っています・・・対象とする利用者の自宅を訪問しての支援です
軽度認知症の方のご自宅に訪問し、話し相手・散歩・病院の付き添いなど、いわゆる家事援助以外の支援を行い、利用者の「出不精」を緩和し、他人との交流のきっかけ作りを行います。詳しくはお問い合わせください。

ケアマネジメントセンター

専用電話 090-2228-6117

介護保険サービスを利用されたい方に、ケアプラン作成及びサービス事業者との連絡調整を行います。

まどかサポーターのご案内



まどかのサポーター会員の方を募集しています。社会にある、福祉問題に関心がある方、活動に賛同して頂ける方は、是非仲間に加わってください。小さな地域の輪が、いずれ大きな運動につながることを確信して・・・継続が力です。

正会員・・・年一回の総会で表決権一票を持ちます・・・年会費 5千円

準会員・・・総会にて意見を申述できますが表決権は持ちません・・・年会費 3千円

(27年 11月 現在 正会員 46名 準会員 23名)

会員特典！ 茨城県の観光名所、袋田の滝の入口、目の前にある『菊池みやげ店』さんのご協力で、会員証ご提示の方に、飲食時に特別サービス品をご提供頂けます。飲食しない方にも、おみやげ購入時にサービス品の提供が受けられます。奥久慈に行かれた際は、是非お立ち寄りください。



児童用図書やコミック・ゲーム・消耗品等のご寄付のお願い

ご家庭に眠っている、貴重な宝物を、まどかで是非活用させて下さい！皆さんの善意で成り立っているまどか、何でも構わないので、心当たりがあったらご連絡ください。折り紙の残り物、コミック、古い文房具、電化製品などなど。これから、事業所移転に向けて必要になるものもあるかもしれません。お心当たりがありましたら、ご連絡ください。



*** ゆめのあとさき ~編集後記~ ***

一億総活躍だそうです。もうすぐ1億人を下回ってしまうというのに。その人が存在するだけで、その人は周りに影響しています。つまり活躍しています。良きにつけ悪きにつけ、その引力は万有です。いまさら、何をもって・・・などと体制に叛旗を翻すかのような言辞は慎みましょう。一人一人が、自然に輝ける社会を目指しているまどかは6年目になります。まだまだ括約筋を引き締めて活躍するぞ。

文責 理事長 渡辺隆生 (つくば国際大学講師 社会福祉士)



特定非営利活動法人 まちなか交友館 まどか

〒 300-4231 茨城県つくば市北条51-1
電話 029-867-6117 FAX 029-867-6118
ホームページ <http://www.machinakamadoca.org>
利用条件等はホームページでご確認ください